

総合
テーマ

グローバル化における 北海道の産業の未来を考える

現代経済はグローバル化していると言われ、ヒト・モノ・カネが国境を越えて活動しています。北海道の企業や産業もこのグローバル化した経済とは無縁ではありません。人口減少に直面し、停滞する北海道経済の中において、海外の市場とどのように向き合い、それをどのように取り込んでいくかは今後の北海道の企業、産業にとって重要な課題といえます。

今回の経済学特別講義では、北海道において海外市場への進出、また海外から顧客の取り込みをしている12の企業や団体の方にご講演をいただき、グローバル化した経済における北海道の企業、産業のあり方について考えたいと思います。また現在問題となっているTPPが農業に与える影響についても取り上げ、その影響についてもお話しさせていただきます。

受講料無料／事前申込不要 受講ご希望の方は、当日直接会場までお越しください。

- | | | | |
|---------------|--|-----------------------|---|
| 第1回
9月27日 | 本特別講義の進め方とねらい
平澤亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授 | 第8回
11月15日 | 道産水産物の輸出戦略
崎出弘和 氏 ●北海道漁業協同組合連合会代表理事常務 |
| 第2回
10月4日 | 北海道グローバル・アンビシャスのすすめ
小玉俊宏 氏 ●北海道経済部経営支援局国際経済室長 | 第9回
11月22日 | 海を渡ったナガイモ
～徹底した品質管理が農産物の概念を変える
常田 馨 氏 ●JA帯広かわにし青果部長 |
| 第3回
10月11日 | 地域産業としての観光と経済波及効果について
本田 哲 氏 ●一般社団法人倶知安観光協会代表理事 | 第10回
11月29日 | 北海道に国際技術市場を
～北海道の新しい産業戦略
山崎一彦 氏 ●北海道国際技術交流推進協議会理事 |
| 第4回
10月18日 | 訪日観光客誘致「イスラム圏からのインバウンドビジネス拡大」
仙野雅則 氏 ●加森観光株式会社社長室室長 | 第11回
12月6日 | 北海道でのものづくり
杉本正和 氏 ●株式会社デンソーエレクトロニクス取締役社長 |
| 第5回
10月25日 | TPP交渉の現状と北海道農業に与える影響
東山 寛 氏 ●北海道大学大学院農学研究院講師 | 第12回
12月13日 | ロシア極東ビジネスへのチャレンジ
加地賢幸 氏 ●株式会社北海道銀行国際部長 |
| 第6回
11月1日 | グローバル社会における成長戦略
藤井 創 氏 ●株式会社アミノアップ化学代表取締役社長 | 第13回
12月20日 | 中国とのビジネスについて
～大連駐在経験を踏まえて
矢嶋洋一 氏 ●株式会社北洋銀行国際部副部長 |
| 第7回
11月8日 | 北海道のグローバルロジスティクスについて
大谷知直 氏 ●日本通運株式会社札幌支店北海道営業部次長 | 第14回
'14年
1月10日 | 北海道の木材産業の過去、現在、未来への展望
高橋範行 氏 ●昭和木材株式会社代表取締役専務 |
| | | 第15回
'14年
1月24日 | まとめ
平澤亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授 |

会場／札幌学院大学 D101教室 (D館1階)

講義時間／13:10～14:40

コーディネーター／平澤亨輔 (札幌学院大学経済学部教授)

主催／札幌学院大学 経済学部、道民カレッジ連携講座

●お問い合わせ先

札幌学院大学教務課 (経済学部係)

〒069-8555 江別市文京台11番地

☎011-386-8111 (内線3212、3222)

[URL]http://www.sgu.ac.jp

第1回 (9月27日) 平澤亨輔氏 ●札幌学院大学経済学部教授

本特別講義の進め方とねらい

長野県出身。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学。1984年札幌学院大学商学部助教授、1999年札幌学院大学経済学部教授、現在に至る。専門は都市経済論。

第2回 (10月4日) 小玉俊宏氏 ●北海道経済部経営支援局国際経済室長

北海道グローバル・アンビシャスのすすめ

帯広市出身。明治大学商学部卒業。1982年4月北海道庁採用、2005年4月北海道総務部行政改革課主幹、2007年6月北海道総合政策部北海道洞爺湖サミット推進局参事、2009年4月北海道経済部資源エネルギー課長、2011年6月北海道経済部労働局雇用労政課長、2012年4月北海道経済部国際経済室長。趣味は日用大工。

第3回 (10月11日) 本田 哲氏 ●一般社団法人倶知安観光協会代表理事

地域産業としての観光と経済波及効果について

早稲田大学商学部卒業。2003年日産自動車(株)本社国内販売促進部課長の勤務を経て、本田興業(株)に入社、現在、代表取締役。同年、スキー客の低迷によるニセコの疲弊に危機を抱き、住民有志22名で「観光地倶知安戦略会議」を立ち上げる。2005年最終提言書を北海道、倶知安町などに提言、その後のニセコエリアの観光振興のモデルとなる。2006年倶知安観光協会に組織改革部会を立ち上げる。2007年ニセコプロモーションボード(NPB)を設立、2011年7月より倶知安観光協会専務理事、2012年6月に会長就任、10月に法人化代表理事就任。現在は、他市町村との観光広域連携の取り組み、そして、ニセコ町、倶知安町の統一観光組織「(仮称)ニセコ観光局」立ち上げに携わる。観光が確固たる地域産業として位置づけ、その経済効果の域内循環化に向け、中小企業振興基本条例などの制定に取り組む。

第4回 (10月18日) 仙野雅則氏 ●加森観光株式会社社長室室長

訪日観光客誘致「イスラム圏からのインバウンドビジネス拡大」

北見市出身。札幌学院大学経済学部、サンフランシスコ大学ESL修了。1988年加森観光株式会社入社。同社・海外事業部配属後、米国現地法人設立と共に北米を代表する2つの大型スキーリゾートの事業買収と現地法人の運営に従事。また、北米に於けるスキー場、ゴルフ場、遊園地、レジャー・リゾート施設の買収事業にも多角的に関与。同時にルズツリゾート(留寿都村)のホテル、ゴルフ場、スキー場を含む複合リゾート施設の開発にも参画。海外営業部長、営業企画部長を経て、2012年より現職に。就任後、同社関連事業との連携を図りイスラム圏からの新たな誘客事業を主導する。

第5回 (10月25日) 東山 寛氏 ●北海道大学大学院農学研究院講師

TPP交渉の現状と北海道農業に与える影響

札幌市出身。北海道大学大学院農学研究科修了。1995年～2004年まで秋田県立大学・秋田県立大学生物資源科学部で米問題、集落営農の調査研究に従事。2004年10月に北海道大学に転任し、農地問題、地域農業振興計画策定、担い手育成の調査研究に従事。

第6回 (11月1日) 藤井 創氏 ●株式会社アミノアップ化学代表取締役社長

グローバル社会における成長戦略

北海道出身。京都大学工学研究科高分子化学専攻修士課程修了。1989年4月旭硝子株式会社中央研究所入社、1998年4月株式会社アミノアップ化学入社、2007年8月株式会社アミノアップ化学取締役研究部長就任。2011年9月株式会社アミノアップ化学専務取締役就任、2012年9月株式会社アミノアップ化学代表取締役社長就任、現在に至る。趣味はスポーツ全般、アウトドア、旅行など。

第7回 (11月8日) 大谷知直氏 ●日本通運株式会社札幌支店北海道営業部長

北海道のグローバルロジスティクスについて

北海道出身。小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻(MBA・専門職大学院)修了。1986年4月日本通運株式会社入社、2008年2月札幌支店総務課長、2010年2月小樽支店次長、2012年4月より現職。現在、営業開発グループのリーダーとして、北海道内の倉庫拠点・3PL営業を中心に、域内物流をはじめグローバルロジスティクスなど総合的な物流や付帯業務に関する提案を幅広く行っています。

第8回 (11月15日) 崎出弘和氏 ●北海道漁業協同組合連合会代表理事常務

道産水産物の輸出戦略

北海道出身。北海道大学農学部農芸化学科卒業。1976年4月北海道漁業協同組合連合会入会。1999年4月東京支店部長、2000年4月営業部長、2004年7月参事補・共販部長事務取扱、2006年7月参事・総務企画部長事務取扱、2008年4月参事、2010年6月代表理事常務。現在に至る。

第9回 (11月22日) 常田 馨氏 ●JA帯広かわにし青果部長

海を渡ったナガイモ～徹底した品質管理が農産物の概念を変える

帯広市出身。帯広北高等学校卒業。1978年4月川西農業協同組合入職。1992年4月別府事業所青果係長、2003年12月別府事業所長・広域流通統括(輸出)、2012年4月青果部部長。

第10回 (11月29日) 山崎一彦氏 ●北海道国際技術交流推進協議会理事

北海道に国際技術市場を～北海道の新しい産業戦略

東京都出身。筑波大学大学院経営政策科学研究科修士課程修了。1971年4月北海道開発庁入庁。1995年11月北海道開発局人事課長、1998年6月北海道開発庁経済課長、1999年6月北海道開発庁企画室長、2001年1月国土交通大臣官房審議官、9月辞職。2002年4月北海道地域総合振興機構常務理事、2012年4月公益財団法人はまなす財団に改組、11月定款による定年退職。12月北海道国際技術交流推進協議会設立、この間、開発計画立案、予算要求、プロジェクトの推進支援。余暇にランニング、ウォーキング及び歴史探訪。

第11回 (12月6日) 杉本正和氏 ●株式会社デンソーエレクトロニクス取締役社長

北海道でのものづくり

三重県出身。慶應義塾大学大学院工学研究科修了。1982年4月株式会社ブリヂストン入社。1984年8月日本電装株式会社入社(1996年10月1日株式会社デンソーに社名変更)。2003年1月株式会社デンソーIC製造部長、2007年1月幸田製作所長、2007年4月株式会社デンソーエレクトロニクス設立とともに、取締役社長に就任。現在に至る。

第12回 (12月13日) 加地賢幸氏 ●株式会社北海道銀行国際部長

ロシア極東ビジネスへのチャレンジ

札幌市出身。北海道大学法学部卒業。1982年4月北海道銀行岩見沢支店入行。2005年12月芽室支店長、2009年麻生支店長、2011年4月国際部長。趣味は外国語学習、旅行、ジョギング、ゴルフ、音楽を聴くこと。海外旅行先でのCDショップ巡りは必須。

第13回 (12月20日) 矢嶋洋一氏 ●株式会社北洋銀行国際部副部长

中国とのビジネスについて～大連駐在経験を踏まえて

東京都出身。京都大学文学部卒業。1986年4月北海道拓殖銀行入行、1991年～92年中国語研修生として北京留学、1994年～96年海外経済協力基金出向、1998年11月北洋銀行入行。大通支店、法務コンプライアンス室を経て、2004年9月国際部調査役、2005年3月大連駐在員事務所所長、2008年10月帰国後国際部(現在副部长)。趣味は旅行、読書。

第14回 (1月10日) 高橋範行氏 ●昭和木材株式会社代表取締役専務

北海道の木材産業の過去、現在、未来への展望

旭川市出身。北海道大学経済学部経営学科卒業。1974年9月～1975年6月北大と米国姉妹大学のポートランド州立大学との交換留学生として米国留学、単位交換で北大は3か年で卒業。商社時代は、東南アジア向けの紙の輸出業務に従事、昭和木材入社後は、世界各国からの、木材輸入業務に従事、現在に至る。趣味はゴルフ。夏場の休日は、健康のためにプレーしている。商社時代に経験した「時は金なり」を実践のために、仕事は翌日に持ち越さないことを心掛けて、常にPCを携帯し、経営方針の策定実行、海外業務に従事している。

第15回 (1月24日) 平澤亨輔氏 ●札幌学院大学経済学部教授

まとめ

プロフィールについては、第1回を参照してください。

受講料は無料で、どなた様でも受講できます。人数の制限はありません。事前に申し込む必要はありませんので、当日直接会場までお越しください。

